【心の健康観察のページの活用法】



➢ アラート表示により悩みや不安を抱える児童生徒を早期発見して支援したり、児童生徒が発信するSOSを把握して早期対応したりすることにより、児童生徒の心の健康状態を良好に保つことができる。

【児童生徒】



- 児童生徒は、登校後（朝）に各自の端末から日々の心の天気（気分）、朝食の摂取状況、睡眠時間を回答。
- 相談したいことがある場合は、「こっそり相談」に「相談相手」を入力。

【教職員】



- 教職員は、確認したい学年、学級を選択。
- 教職員は、各自の端末で児童生徒の基本的な生活習慣の状況や心の健康状態、SOSの有無を確認。
- 必要に応じてアラートが示されている児童生徒に声かけ。
- 「こっそり相談」を希望している児童生徒と希望する相談者を把握し、個別相談を実施。





アラートの条件や閾値については、「心の健康観察」ヘルプページを参照

心の健康観察　ヘルプページ

活用にあたって・・・期間（通年、学期、月、長期休業明けの〇週間等）を設定し、学校の体制を整え、学校・学年・学級単位で利用すること





先生方へ

教員用ダッシュボード上段の ⓘ ヘルプ から**アラートの条件や閾値を変更**することができます。変更できるのは、以下の条件になります。

- **「心」「朝食」にアラートとして色を付ける条件**
- **「睡眠時間」にアラートとして色をつける条件**
- **「朝食」と「睡眠時間」のアラートの閾値**

小・中・高それぞれの児童生徒の発達段階や学校の実態に応じて、また、長期休業やテスト期間などの実状に応じて変更することができます。

